

ロには、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名

グループホーム

プリマホーム

日付

平成16年7月30日

評価機関名

有限会社
アウルメディカルサービス

■評価調査員

薬剤師・介護支援専門員

痴呆介護経験8年、障害者、老人介護支援

自主評価結果を見る

(まだリンク先はありません)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります！)

外部評価の結果

簡評

■全体を通して(特に良いと思われる点など)

大きな屋根が印象的な平屋造りのホームは、重厚な木材がふんだんに使われ、とても落ち着いた雰囲気である。
ゆったりとした居間にはピアノが置かれていて、音楽を楽しむことができる。居間からテラスに出ると広々とした中庭があり、運動するのに十分な広さである。

環境が変わっても習慣は継続させてあげたい。入居者が自宅にいるときと同じように生活ができることをめざしている。
希望があれば終末期にも対応すると語られ、地域の介護福祉の拠点をめざすという意気込みが感じられる。
職員の休憩室など労働環境への配慮もされ、近隣の医師との連携も大切に考えられている。信頼関係の下で、医師の顔を見たり、声を聞くだけで入居者はリラックスするという。

職員間では話し合いによる情報の共有化が行われ、入居者へのチームケアの体制はうまく機能している。入居者及び家族との信頼関係を大切に思い、手紙や写真を利用して家族との連絡がとられている。入居者の状況に応じて速やかに必要な対応できるよう、入居者のサインを見逃さない見守りの姿勢を心がけられている。

■改善の余地があると思われる点

特になし

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目 ■グループホームとしてめざしているものは何か 笑顔で、自由な生活を基本に、「入居者が主役」をモットーとしている。自宅にいるときと同じように生活できることをめざして、職員はサポートを行っている。終末期の対応も、希望があれば対応できる体制を作っている。介護福祉の拠点として地域に貢献できることをめざしておられる。			

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目 ■入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 提携している医師が電話口で入居者と会話をしたり、往診としてではなく立ち寄ってくれたりしている。医師との信頼関係の良さは入居者に安心感を与えている。 また、職員の休憩も別室で取るなど労働環境にも配慮されている。このことは、職員のストレスを軽減し介護に良い影響を与えている。			

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のベースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物物の支援	○	
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目 ■一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 居室に帰れたとき、時間を見計らって少し長いようであれば見守りに行くが、できるだけ遠くからの見守りを心がけている。入居者と話をするときは居室で行い、信頼を得るように努力している。			

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目 ■サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 入居者の不安を解消するためには、職員をはじめ周囲との信頼関係を築くことが大切との思いから、入居者のサインを見逃さないように日ごろからの見守りに努めている。また、ユニット間の交流、ユニット会議、リーダー会議もしっかり行われている。			